

令和元年度 野洲図書館 事業報告(概要)

令和2年(2020年)4月1日 (統計は令和元年度)

I. 利用状況

①個人貸出

	貸出冊数 (冊)	貸出人数 (人)	予約受付 (冊)	問合件数 (件)	実利用数 (人)	人口一人あたりの貸出冊数
本館	511,846	119,186	-	5,698	-	-
中主分館	43,276	9,729	-	872	-	-
合計	555,122 前年比△9.7% (63,359)	128,915 前年比△8.5% (13,201)	42,761 前年比△7.7%	6,870 前年比 +11.5%	-	10.9冊

* ()内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

*「実利用者数」は元年度の期間に1度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。令和元年6月にシステムの更新を行ったため、令和元年度は通年の正確な実利用者数が出ない。

4/1~6/5 の実利用者 5,907人(うち市民 5,066人)

6/6~3/31 の実利用者 10,785人(うち市民 9,160人)

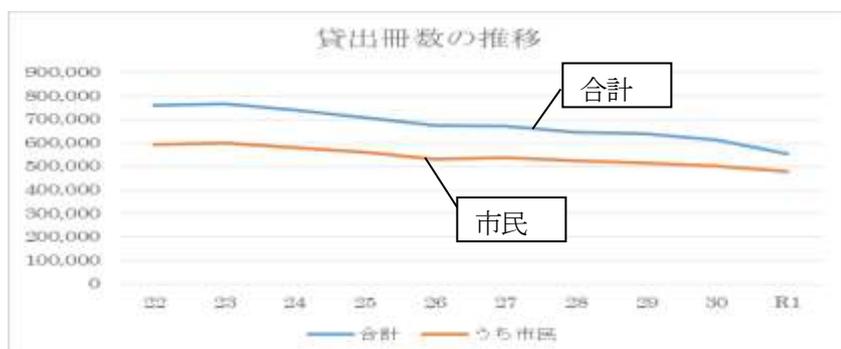
②地域別貸出冊数(令和元年度)

	本館	中主分館	合計	前年比
市民	442,329	35,358	477,687	-4.7%
湖南4市	守山	6,939	56,410	-38.1%
	栗東	52	3,624	-28.8%
	草津	379	3,325	-23.6%
	小計	7,370	63,359	-37.0%
その他	13,528	548	14,076	8.4%
合計	511,846	43,276	555,122	-9.7%
前年比	-10.3%	-2.5%	-9.7%	

③貸出冊数の推移

	合計	うち市民
22	759,692	595,115
23	767,040	601,017
24	741,527	582,419
25	710,051	560,694
26	676,144	532,775
27	674,122	536,814
28	646,153	525,437
29	639,520	516,736
30	614,906	502,055
R1	555,122	477,687

貸出冊数については、本館、中主分館とも減少が続いている。平成30年度までは微減傾向だったが、令和元年度は減少幅が大きい。理由として、システム更新の休館のた



め、開館日数が例年より少なかったこともあるが、平成30年11月に新館オープンした守山市立図書館の影響が大きい。湖南4市の広域利用者の減少幅が大きい、市民の利用減も大きく、前年比△4.7%である。市民の利用を伸ばすことが課題である。なお、野洲市民が3市の図書館から借りた合計冊数は47,122冊(資料編p11)。野洲図書館の利用と合わせると524,809冊(昨年度比△0.07%)であり、市民の図書館利用自体は減っていない。

貸出が減少する中でも問合せ件数は年々増加しており、必要な資料を的確に提供することが求められている。資料提供についての満足度をより高めることが必要である。

④広域利用の相互利用の比率の推移

(野洲市民が守山、草津、栗東の図書館から借りた冊数を100としたときの3市の野洲図書館の貸出の比率)

	守山	草津	栗東
22	100: 995	100: 100	100: 367
23	100: 906	100: 157	100: 402
24	100: 925	100: 146	100: 533
25	100: 853	100: 176	100: 567
26	100: 878	100: 199	100: 611
27	100: 718	100: 166	100: 612
28	100: 1011	100: 93	100: 416
29	100: 1199	100: 103	100: 345
30	100: 514	100: 126	100: 261
R1	100: 135	100: 95	100: 186

④は湖南4市の広域利用の推移である。自治体間の相互の利用には不均衡があり、特に守山と野洲の相互の貸出冊数について、これまで約7倍～10倍の割合で野洲図書館の貸出が多かった。守山-野洲間の不均衡が適正化されることは望ましい。

(令和元年度はなお、野洲図書館からの貸出の方が守山市からの貸出より13.5%上回っている。)

⑤市内の子ども(0～12歳)1人当たり児童図書貸出冊数

年度	冊
21	26.8
22	26.5
23	28.3
24	27.1
25	26.5
26	25.4
27	26.5
28	26.3
29	27.4
30	27.2
R1	25.1

市内の子ども一人当たりの児童書の貸出冊数をみると、これまでは横ばい状態であったが、令和元年度は減少しており、これも上記と同じ理由と考えられる。本館は特に、子どもだけで来館しやすい立地ではないため、保護者に連れてきてもらえる子どもでなければ利用しにくい。市立図書館まで来館できない子どもに対しての読書支援のさまざまな取組みは、学校や園、団体等の協力を得て実施しているが、今後も継続して行い、工夫していくことが必要である。

*「子ども1人当たり児童図書貸出冊数」は、「第3次野洲市子ども読書活動推進計画」の目標値

団体貸出(冊数)

	合計	学校	園	学童	その他
28	25,574	9,433	5,737	8,179	2,225
29	28,068	9,007	5,657	9,272	4,132
30	24,994	6,199	5,665	10,018	3,112
R1	26,673	8,182	5,600	9,850	3,041

⑥団体貸出 合計 26,673冊貸出(園への読み聞かせ絵本セット5,400冊含む) 141団体

学校、園、学童保育所、ボランティア団体、施設等に団体貸出を行っている。学校の調べ学習用の資料の貸出や学校向け貸出セット、学校の各クラスでの読書推進での利用なども含まれる。図書館まで来館できない人への図書館サービスのひとつとして、希望に応じて今後も利用を伸ばしていくことが必要である。

⑦その他 利用に関する統計

*障がいのあるかたへの資料の郵送、宅配 実利用者11人 郵送113件 434冊、宅配49件 381冊

*調査相談・問い合わせ件数 6,840件

*コピーサービス 2,763枚、国立国会図書館デジタル化資料複写 1,811枚

*図書館ホームページ閲覧件数(6/20～3/31) 88,566件

*本館、中主分館とも 271日開館

2. 蔵書

蔵書数(2020年3月31日現在)

	図書 (冊)	CD (点)	VTR/DVD (点)	絵画 (点)	雑誌 (タイトル)	新聞 (タイトル)
本館	363,254	4,491	2,030	310	194(151)	18(13)
中主分館	31,724	182	7	0	12(8)	2(2)
合計	394,978	4,673	2,037	310	206(159)	20(15)

雑誌、新聞の()内は購入数

雑誌オーナー 24タイトル 19件

購入資料数と決算額(令和元年度)

	新規購入図書 (冊)	視聴覚資料 (タイトル数)	図書費 (円)	雑誌購入費 (円)	新聞購入費 (円)
本館	9,364	0	15,577,124	1,537,001	478,556
中主分館	536	0	755,242	54,480	81,156
合計	9,900	0	16,332,366	1,591,481	559,712

★滋賀県立図書館をはじめ県内公共図書館の蔵書も県立図書館HPを通じて検索可能。

県立図書館の協力車が毎週巡回し、相互貸借の資料を搬送。相互貸借:1,752冊借受、803冊貸出

3. 集会行事等

①おはなし会 合計119回(図書館内で毎月約7回開催、館外への出張おはなし会 年17回)
参加人数 4,382人

②学校、園協力

- ・調べ学習資料用意 96件 2,100冊
- ・学校への出張個人貸出 4校(三上小、中主小、篠原小、中主中)へ毎月1回 合計2,908冊貸出
(篠原小学校は令和元年9月から巡回開始)
- ・ブックトーク 6小学校全校の全クラスへ出向 合計96クラス 3,006人
- ・中学校職業体験 3校 10名
- ・小学校・幼稚園等の図書館見学 5回 276人
- ・幼稚園・保育園・子ども園へ読み聞かせ用絵本セットを配本(15園 年6回) 5,400冊

③講演会等

- ・『化石とあそぼう 恐竜とアンモナイトの謎』
展示(7/5~9/4)および説明会(7/27)140人(羽島俊男さん協力)
- ・戦争と平和を考える企画展 展示『旧満州の戦争体験 ~松波益男さんが描いた記録~』
7/27~8/18
- ・『としょかんでないと』(図書館お泊り会)9/15~16 34人
- ・『山本淳子さん講演会 しあわせなことばとの出会い~親子の絆を育むわらべうた~』
「親子でたのしむわらべうた」42人、講演会「子どものことば、こころを育むわらべうた」17人

④本のリサイクル「リサイクル市」5月、11月、2回、常設のリサイクル棚設置
合計約11,160冊を無償譲渡

- ⑤その他
 - ・「1日図書館員」2日間 24名 7/24.7/25
 - ・「としょかんまつり」11/9 本のカバーかけ講座 38人、図書館ツアー23人、ほか
 - ・「朗読会」4/21 25人、11/9 18人「朗読ユニットあかり」出演
 - ・コンサート「なんくるないさーず With オカリナぴぽ ミニみにコンサート」12/8 59人
 - ・「やすまる広場」6/3 協力事業:本の古本市
 - ・市民活動団体との連携事業（「子ども・本・文化を考える会」主催）
 - 「真鍋真さん 子どもの恐竜教室」11/2
 - 「真鍋真さん 講演会 深読み!絵本『せいめいのれきし』」11/3
 - 「田澤雄作さん講演会 メディアにむしばまれる子どもたち」12/6

4. 資料関連その他

- ・本の特設コーナー 合計76件 「平成を振り返る」「万葉集を知る」「色の和名、花の和名」「Read and Vote ~あなたの論点あなたの選挙」「阪神淡路大震災から25年」「語り合う」「おうちで遊ぶ」「ヘイトに抗う」「滋賀がロケ地になった本」「明智光秀とその時代」ほか
- ・図書館だより、ブックリスト等の作成
 - 一般向け(毎月)、児童向け(毎月)、児童向け特番(1回)、中高校生向け(4回)、赤ちゃん向け絵本の紹介(1回)
- ・野洲市に関する新聞記事のデータベース(新聞名、日付、タイトルなど)を図書館HPで公開

5. 他機関等との連携

- ・ブックスタート事業(毎月2回) 4か月児検診時に実施 373人 745冊配布
- ・健康福祉センターで実施される育児サロンでのよみきかせ(毎月) 885人参加
- ・職員講師等派遣
 - 野洲市読書活動推進講座、先生のための子ども読書学習講座、中主小学校図書室運営講座、北野学区民生児童委員協議会読み聞かせ講座、野洲市第3回生涯学習セミナー「絵本が育むもの」
 - 合計6回 職員派遣のべ8名

6. 図書館協議会 (任期 令和元年5/1~令和3年4/30)

委員 10名 4回開催 第1回 7/11、第2回 10/17、第3回 1/9、第4回 3/17

7. その他

・コンピュータシステム

NEC 「LiCS-Re for Saas」 令和元年(2019年)6月より導入(クラウド方式、おうみ自治体クラウド協議会6市による共同調達)システム更新および蔵書点検のため、6/6~6/19の期間を休館。(令和元年5月末まではIBM「総合図書館情報システム CLIS/400」POWER 720 EXPRESS モデルE4D)

- ・「図書館の評価」実施開始 目標13項目 図書館協議会による外部評価を実施
- ・利用者アンケート 令和2年2/21(金)~3/1(日) 726枚配布 590枚回答(回答率81%)
- ・施設貸出 利用回数 1,253回、13,499人、利用団体実数 92団体
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月19日より主催事業(おはなし会)の中止および、主催以外の事業(貸館に係るもの)について利用の自粛要請。ブックスタート、育児サロンのよみきかせについても3月は中止された。